

▼十五年。あつという間に過ぎました。無我夢中でした。さいわい仏天の加護、檀信徒その他有縁の方々の協力により、どうにかここまで辿りつきました。

これで善光寺も基盤が確立しましたので、今後は布教教化の拡充に専念する所存です。

▼前大本山総持寺副監院佐藤俊明老師は、仕事のため中央に出てこられる機会が多いので、その際の宿を提供し、余暇を善光寺運営の協力に割っていたり、おことになりました。おかげで本誌も発行できる運びとなりました。

▼私のこれまでの歩みを通して感じますことは、人、人、人づくりほど大事なことはありません。そこで善

光寺は再来年を目標に、留学生派遣制度を確立し、善光寺運営のブレーン養成、ひいては仏教界の発展に寄与したいものと考えてます。

その他やりたいことはいくらでもあります。何卒ご協力、ご支援のほどお願い致します。(黒田武志)

▼本山に七年半もおったものですが、こちらでのご縁が多く、当地と自坊の間を往還しております。そして有難いことに、こちらに出て来た際のお宿を提供していただいております。

▼方丈様の素晴らしいご活躍、そして檀信徒の皆様の奇様な浄業にはただただ頭がさがります。余力を協力させていただくこと、まことに有難いご縁と存じます。

▼開創十五周年を記念して、従来の『拈華』を發展的に解消して『成寿』が発行されることになりました。さいわい、グラフィック・デザイナーの小熊由美さんが、レイアウト・校正等の一切を受持ってくださいましたので、作業は順調に進みました。ご期待をお願いします。

▼真白な道を歩きはじめた『成寿』の旅に、胸を踊らせながら、同行させていただきました。(小熊由美)

成寿 創刊号

昭和五十八年九月一日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五(八四五)一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局



女人あり

むらさきの嫉妬のほむらに
自らを焼きて苦しむ
或る日観音を見たり
慟哭寸前の微笑の前に
涙とどまらず すべてを許し
自らも平安を得たりき
なげきの人・悲しみ・恨み・呪い
また絶叫して苦しむ此の世
観音はおん目に涙いっぱいたたえ
かかる人々を拝み給う
かくて すべての思いは清まるなり
あゝ 十一の面をもつ観世音
ただ黙して立ち給う
おんなみだ 流しつづけて……

——遠藤太禅——



Lactcal C
ラクトカル C



健養茶



 ナリス商事(株)

美と幸せをお届けします

ほほえみのごあいさつ

 ナリス化粧品

本社 大阪市福島区海老江5-1-6 TEL (06)458-5801(代)